

2023年度出力制御見通しについて

2023年8月3日

東北電力ネットワーク株式会社

1. 2023年度短期見通し（2回目）の算定結果について

算定の前提条件

- 2023年4月から6月までの出力制御実績を反映し、2023年度の出力制御見通しについてシミュレーションを実施
- 太陽光・風力は、2021年7月～2022年3月の前日想定・実績データに、接続予定の設備増加量および誤差を考慮
- 電源Ⅲ・バイオマス・水力・地熱の設定も上記にあわせ、2021年7月～2022年3月のデータを使用
- 火力等電源の停止は、2023年度補修計画を反映し、調整火力は必要最小限を想定
- 需要は、至近実績を考慮して当初想定より3%減を使用
- 域外送電は2023年4月～6月の連系線活用実績を考慮し、東北東京連系線は80%程度送電、北本連系線は50%程度受電を採用

1. 2023年度短期見通し（2回目）の算定結果について

〈2023年度出力制御見通し〉

	出力制御率（制御電力量） [太陽光・風力それぞれの出力制御率]					
	旧ルール		新ルール	無制限・無補償 ルール	制御対象 設備計※3	全設備※4
	オフライン※2	オンライン				
2023年度 見込み	1.89% (11,813万kWh) 〔太陽光：2.06% 風力：1.08%〕	0.39% (846万kWh) 〔太陽光：0.33% 風力：0.52%〕	0.27% (763万kWh) 〔太陽光：0% 風力：0.27%〕	0.60% (1,824万kWh) 〔太陽光：0.59% 風力：0.67%〕	1.07% (15,247万kWh) 〔太陽光：1.36% 風力：0.51%〕	0.93% (14,713万kWh) 〔太陽光：1.14% 風力：0.49%〕
(参考) 2023年度 I/A全体オンライン化	0.78% (6,565万kWh) 〔太陽光：0.87% 風力：0.48%〕		0.48% (1,352万kWh) 〔太陽光：0% 風力：0.48%〕	0.83% (2,524万kWh) 〔太陽光：0.87% 風力：0.48%〕	0.73% (10,441万kWh) 〔太陽光：0.87% 風力：0.48%〕	0.66% (10,441万kWh) 〔太陽光：0.75% 風力：0.46%〕

※1 各区分の出力制御量／各区分の総発電量(出力制御量含み)にて算出。全設備は出力制御対象外設備を含む総発電量（出力制御量含み）に対する出力制御量の割合を示す。

※2 オフライン代理制御分を含む。（オフライン相当の8時間停止に換算した値で算出）

※3 オフライン代理制御分（オフライン相当の8時間停止に換算した値）を加算。

※4 実際の制御時間で評価した値。（オフライン本来制御およびオンライン本来制御・代理制御の合計）

〈2023年度出力制御見通し(全設備)の内訳〉

	実績	見通し	
	4～6月	7～3月	年度合計
全設備	2.28% (10,277万kWh) 〔太陽光：2.46% 風力：1.67%〕	0.39% (4,436万kWh) 〔太陽光：0.50% 風力：0.20%〕	0.93% (14,713万kWh) 〔太陽光：1.14% 風力：0.49%〕

(参考) 2023年度短期見通しの算定結果について

<2023年度出力制御見通し>

第43回系統WG報告資料(抜粋)

	出力制御率 (制御電力量) [太陽光・風力それぞれの出力制御率]					
	旧ルール		新ルール	無制限・無補償 ルール	制御対象 設備計※3	全設備※4
	オフライン※2	オンライン				
2023年度 見込み	1.22% (9,291万kWh) 〔太陽光：1.42% 風力：0.7%〕	0.10% (208万kWh) 〔太陽光：0.12% 風力：0.07%〕	0.07% (131万kWh) 〔太陽光：0% 風力：0.07%〕	0.12% (362万kWh) 〔太陽光：0.12% 風力：0.07%〕	0.69% (9,992万kWh) 〔太陽光：0.89% 風力：0.33%〕	0.56% (8,857万kWh) 〔太陽光：0.66% 風力：0.33%〕
(参考) 2023年度 I/A全体オンライン化	0.31% (2,970万kWh) 〔太陽光：0.37% 風力：0.18%〕	0.18% (317万kWh) 〔太陽光：0% 風力：0.18%〕	0.36% (1,071万kWh) 〔太陽光：0.37% 風力：0.18%〕	0.3% (4,358万kWh) 〔太陽光：0.37% 風力：0.18%〕	0.27% (4,358万kWh) 〔太陽光：0.32% 風力：0.18%〕	

※1 各区分の出力制御量/各区分の総発電量(出力制御量含み)にて算出。全設備は出力制御対象外設備を含む総発電量(出力制御量含み)に対する出力制御量の割合を示す。

※2 オフライン代理制御分を含む。(オフライン相当の8時間停止に換算した値で算出)

※3 オフライン代理制御分(オフライン相当の8時間停止に換算した値)を加算。

※4 実際の制御時間で評価した値。(オフライン本来制御およびオンライン本来制御・代理制御の合計)

2023年度当初計画(第43回系統WG)に対する増減分析

○ 2023年度当初想定と比較し、主に**連系線活用率の減少**により出力制御率が増加する見込み。

項目	内容
太陽光・風力	<ul style="list-style-type: none"> ・2023年度当初想定と比較して、4～6月は実績値を採用し、太陽光27万kW程度、風力21万kW程度増加。 ・2023年7月以降の想定は当初計画値を採用したため、増減なし。
連系線	<ul style="list-style-type: none"> ・2023年度当初想定(連系線活用率100%)と比較して、4～6月の再エネ抑制時の実績として、連系線活用率が東北-東京で60%程度まで減少、東北-北海道50%程度まで減少したため、エリアよりの送電分として100万kW程度減少。 ・2023年7月以降の想定は至近の土日・祝日および下げ代不足時の実績から、東北-東京80%程度、東北-北海道50%程度の連系線活用率を採用し、エリアよりの送電分として20万kW程度減少。
揚水・原子力・火力	<ul style="list-style-type: none"> 揚水・原子力・火力 ・2023年度当初想定と比較して、4～6月は実績値を採用し、火力機の追加作業や需給停止により火力最低出力が87万kW程度減少。 ・2023年7月以降の想定は現状の停止計画を採用し、増減はなし。
需要	<ul style="list-style-type: none"> ・2023年度当初想定と比較して、4～6月は実績値を採用し、3%程度(20万kW程度)減少。 ・2023年7月以降の想定においても、2022年度と比較しても同様に3%程度(20万kW程度)の減少となり、至近の実績を踏まえ、当初計画値から3%(20万kW程度)減少。
その他	—

- 当社においては、旧ルール事業者へのダイレクトメールの送付等の機会を活用しオンライン化の推奨を行っている。
- 引き続き、オンライン化のメリットを丁寧に説明し切替を促していく予定。

（オンライン化の状況）

【単位：万kW】

		2023年3月末	(参考)2022年8月末
太陽光	①オンライン化率 ((②+④)/(②+③+④))	52.9%	49.2%
	②新・指定ルール、オンライン事業者	249.9	224.7
	③旧ルール、オフライン事業者	305.5	305.7
	④オンライン制御可能な旧ルール事業者	93.9	71.9
	⑤旧ルール事業者のオンライン切替率 (④/(③+④))	23.5%	19.0%
風力	⑥オンライン化率 ((⑦+⑨)/(⑦+⑧+⑨))	86.4%	85.3%
	⑦新・指定ルール、オンライン事業者	149	132.2
	⑧旧ルール、オフライン事業者	29.4	29.4
	⑨オンライン制御可能な旧ルール事業者	38.8	38.8
	⑩旧ルール事業者のオンライン切替率 (⑨/(⑧+⑨))	56.9%	56.9%

(万kW)

